

2024 年度
兵庫県自転車活用推進計画
フォローアップ調書

2025 年 6 月

兵庫県自転車活用推進計画フォローアップ調書

目標 1	<都市環境> 自転車を快適に利用できる良好な都市環境の形成
------	----------------------------------

1. 2024 年度の主な取組

【施策 1：自転車通行空間の計画的な整備推進】

- ①自転車通行空間の整備推進、②道路標識や道路標示等の適切な設置運用、③市町版自転車活用推進計画（自転車ネットワーク計画を含む）の策定支援
 - 自転車通行空間(自転車道、自転車専用通行帯、車道混在、路肩拡幅)の整備
 - 自転車横断帯の廃止 N=231 箇所、503 本撤去（見込み）
 - 自転車ネットワーク計画策定 N= 1 市町

【施策 2：自転車通行空間の確保の促進】

- ①交通規制の適切な実施と運用、②自転車の放置防止の推進
 - 自転車道や自転車専用通行帯が設置されている道路を駐車監視員による巡回の重点路線等に位置付け、重点的に違法駐車取締りを実施
 - (市町) 駐輪場や放置禁止区域の周知、放置禁止区域での巡回指導・放置自転車の撤去など

【施策 3：シェアサイクルやレンタサイクルの普及促進】

- ①シェアサイクル・レンタサイクルの環境整備
 - (市町)神戸市、尼崎市、西宮市、姫路市、加東市などでシェアサイクル、三木市、福崎町、たつの市、赤穂市などでレンタサイクルを実施中
 - 駅周辺活性化モデル事業（JR 加古川線）で駅前レンタサイクル事業を実施する 2 地域団体へ補助など

【施策 4：地域の駐輪ニーズに応じた駐輪場の整備促進】

- ①駐輪対策の推進
 - (市町)駐輪場の利用情報周知やニーズに応じた車室調整、定期予約サイトの運用など

【施策 5：歩行者・自転車中心のまちづくりと連携した総合的な取組の実施】

- ①ゾーン対策等の生活道路対策の推進、②無電柱化の推進
 - ゾーン 30 プラスの整備 N= 1 箇所
 - 電線共同溝整備延長の実績 L= 7.9km（国・県・市町計）

2. 計画の進捗状況（指標）（上段：累計 下段：単年度）

		目標値 (2033 年度)	当初 (2023 年度)	実績 (2024 年度)
指標	県管理道路における自転車通行空間(自転車道、自転車専用通行帯、車道混在、路肩拡幅)の整備延長	205km	125km	130km (約 5km)※
	自転車活用推進計画もしくは自転車ネットワーク計画の策定市町数	29 市町	22 市町	23 市町 (1 市町)

※自転車道 L=0.1km、自転車専用通行帯 L=0.4km、車道混在 L=0.4km、路肩拡幅 L=3.8km

兵庫県自転車活用推進計画フォローアップ調書

目標 2	<安全・安心> 自転車の適正利用と通行空間の安全確保による安全な自転車利用
------	--

1. 2024 年度の主な取組

【施策 6. 段階的かつ体系的な交通安全教育の推進】

①交通安全教育の推進、②指導者の育成、③効果的な安全教育手法の実施

- 幼児、小学生、中学生、高校生、成人、高齢者といったライフステージ及び外国人、障害者といった多様な自転車利用者に対する交通安全教育を実施(スケアード・ストレイト含む)
- ライフステージに応じた安全教育として「兵庫県警察自転車セーフティプロジェクト(通称:チャリプロ)」を実施。
- 「高校生チャリプロ」では、3ステージ(①事前学習、②効果測定、③実践行動)により、安全教育を実施。また、同施策の①及び②(※タブレット活用学習)を小・中学生へ拡大し、「小学生チャリプロ」及び「中学生チャリプロ」として実施。
- 学校保健・安全行政担当者連絡協議会、学校安全教室講習等を実施。
- 街頭指導員等への講習や、警察本部員を派遣し地域交通安全活動推進委員への講習会・研修会を実施の他、自動車教習所へ自転車の保護や気配りを教育するよう指導。
- 効果的な安全教育手法の調査等を実施。

【施策 7. 自転車の安全な利用促進】

①通行ルールの周知、②安全意識向上の啓発、③自転車の安全利用の促進、④指導・取締りの実施、⑤自転車保険への加入の促進

- 交通安全教室やイベント、県及び県警公式 SNS、テレビ番組を活用し、交通ルールやヘルメット着用、自転車保険加入の徹底、反射材用品の視認効果等を周知する広報啓発活動を実施。
- 自転車ヘルメット購入応援事業、着用促進動画の作成発信、自転車安全利用モデル校事業(県内高校 10 校)の実施。
- 「自転車安全利用の日」のチラシ配布や「ストップ・ザ交通事故県民運動」の実施、「県下一斉自転車指導取締強化日」の指導・取締り強化を実施。

【施策 8. 自転車の点検整備の促進】

①点検整備の促進

- 交通安全教育の機会等を活用し、自転車販売店等と連携した点検整備講習の実施。

【施策 9. 災害時における自転車の活用の推進】

①災害時の自転車の活用

- 引き続き検討。

2. 計画の進捗状況(指標)

		目標 (2033 年)	当初 (2022 年)	実績 (2024 年)
指標	自転車関係 人身事故件数	3,000 件	4,162 件	3,870 件
モニタリング 指標	ライフステージ別の安 全教育の開催回数 や参加者数	—	—	3,117 回、231,502 人 〔内、幼児 7 回、3,594 人 小学生 945 回、82,283 人 中学生 251 回、31,990 人 高校生 182 回、42,131 人 大学生等 92 回、11,374 人 一般 795 回、38,649 人 高齢者 825 回、21,481 人〕

兵庫県自転車活用推進計画フォローアップ調書

目標 3	<観光> 五国の多彩な資源(魅力)を活かしたサイクルツーリズムの推進による地域活力の向上
------	---

1. 2024 年度の主な取組

【施策 10. 多彩なサイクリングルートの走行環境の整備】

- ①サイクリングルートの設定、②誰もが安全・快適に走行できる環境の整備、③大鳴門橋自転車道の整備
 - 新たなサイクリングルートの設定、舗装維持管理、ルート案内標識の移設、路肩拡幅
 - 大鳴門橋自転車道の起工式、アプローチ橋の工事着手、周辺道路の走行環境向上に向けた設計を実施
 - (市) 大鳴門橋周辺地域のオーバーツーリズムの未然防止対策について基本計画を策定

【施策 11. サイクリングをする方のニーズに応じた受け入れ環境の整備】

- ①多様な方が快適に利用できる環境の整備、②多様な自転車輸送手段の確保、③安心して宿泊することができる環境の整備、④地域の魅力を満喫し、地域振興に寄与する仕掛けづくり
 - サイクルラック等の設置や設置補助、フォトスポットの設置
 - シェア・ザ・ロードのチラシ配布や SNS を活用した広報
 - 事業者と連携した広域のガイド付きサイクリングツアーコースの造成や OTA（オンライン旅行社）サイトへの掲載、海外旅行社へのオンラインセミナーなどの支援
 - サイクルイベント（ロングライド、ポタリング、ライディングスクール、サイクルトレイン、輪行など）の実施、他地域との連携（ビワイチ・サドイチ、瀬戸内ヴェロ協議会）、サイクルコースの P R など
 - (市町) 自転車輸送バスの運行、輪行袋の貸し出し（道路通行止め区間の対応）

【施策 12. 情報発信の充実】

- ①誰もがどこでも容易に情報が得られる情報発信の実施
 - サイクルマップの改訂増刷、ホームページや海外インフルエンサーを活用した SNS 発信・海外 OTA サイトへの特集記事掲載 など

【施策 13. 取組を推進していくための体制づくり】

- ①関係者が連携して施策を推進していくための体制づくり、②企業との連携
 - 協議会の開催及びサイクルカウンターによる自転車台数の計測
 - 連携協定企業のネットワークを生かした淡路島でのインバウンド誘客検討

2. 計画の進捗状況（指標）（上段：累計 下段：単年度）

	指標	目標 (2033 年度)	当初	実績 (2024 年度)
指標	継続的に利用環境の向上を図るための協議会の開催	各モデルルート協議会等を年 1 回以上	各モデルルート協議会等を開催 (2023 年度)	5 地域 / 8 でモデルルート協議会等を開催
	サイクルツーリズム（ひょうご観光本部ホームページ）の閲覧数	HP 閲覧数の増加	約 8PV / 日 (2022 年度)	約 7 PV / 日
モニタリング 指標	道の駅におけるレンタサイクルの実施箇所数	—	—	10 / 33 箇所
	サイクルカウンターによる自転車通行量	—	—	代表箇所 (淡路 3 箇所計) 39,240 台

兵庫県自転車活用推進計画フォローアップ調書

目標 4	<健康> 自転車利用の促進による健康で活力ある社会づくり
------	---------------------------------

1. 2024 年度の主な取組

【施策 14. 健康づくりにつながる自転車利用の促進】

- ①自転車通勤、健康づくりに関する広報啓発、②健康づくり公園の活用、③自転車文化の継承
- 自転車通勤の広報啓発（メール配信）
 - 播磨中央公園でのサイクルレースの実施支援、サイクル施設の利用促進の実施（利用料割引など）
 - 公園内に子どもたちの自転車練習場としても利用できる多目的広場を設計 など

2. 計画の進捗状況（指標）

		目標 (2030 年)	当初	実績
指標	通勤目的の自転車 分担率（％）	17.1	13.1 ^{※1} (2020 年)	—
モニタリング 指標	サイクリング行動参加率 (5 年毎)	—	7.6 ^{※2} (2021 年)	—

※1 国勢調査

※2 社会生活基本調査